



さわやかな学舎

○安全安心な環境づくり

時間厳守や体幹保持など“きびきびした生活”、換気・環境美化など“すがすがしい学舎”、場に応じた挨拶など“さわやかな仲間”を中心に安全安心な環境をつくります。新型コロナウイルス対応をはじめ、関係機関と連携した健康教育、安全・防災教育を進めます。

さえ合う仲間

○将来や社会の糸口をつかむ仲間づくり

話し合い合意形成することなど将来や社会の糸口をつかむため、生徒会や部活動で生活を生徒にマネジメントさせます。また、ネットの適切な活用を図るデジタルシティズンシップ教育を進めます。学年担任制により、アンケートや教育相談の複数対応、道徳のローテーション授業を行うとともに、組織的・計画的にいじめ等の未然防止、早期発見・対応を行います。

や
くどうする授業

○主体的・対話的で深く学ぶ授業づくり

職業構造の変化や新産業の創出も踏まえたキャリア教育を進めます。授業スタンダードにより、未来社会で必要となるさきよみする感性、ささえあう力、やりぬく力・まとめる力の育成を図ります。一人一台パソコンにより個別最適な学び、協働的な学びの質を高めます。また、ユニバーサルデザインを充実し、個に応じ個がいきる授業を進めます。

ま
ごころあふれる集団

○生徒と大人が真摯に向き合う集団づくり

学校の主人公である生徒と、保護者、地域の方々、教職員からなる学校運営協議会が学校づくりについて協議し、夢を育む講演、やりがいのある地域貢献、やすらぎのある環境づくりを進めます。教育は”今日行く“を基盤に、保護者・地域住民のつぶやきに敏感に気づき、複数で即時即日対話し、課題と改善の方向性を共有します。(素早く丁寧に、そして笑顔で)

基礎力・思考力・実践力をもち、
支えあい学びあう生徒の育成

ポストコロナ、そして新産業が創出される未来社会に対応する学びは、正解を早く見つけるジグソーパズルから、無数の解より最善解を創るブロックパズルに変化していきます。篠山中学校では生徒同士が最善解を探し続ける対話、生徒に対して教師が授業・教育相談で支援する対話の量と質の向上を図り、学校での学びを将来や社会の糸口にしていきます。

篠山中学校 授業スタンダード

- 1 授業をつかむ 「ハッキリ！目標・見通し」
○予習で「目標」と「流れ」をさきよみする
○見方、考え方を確認し、授業を見通す
- 2 挑戦する 「シッカリ！基礎・基本」
○学習用語や図表を使って考え、書く
- 3 交流し、深める 「ミッチリ！思考・対話」
○論理的に考えを伝え、考えを比較して聴く
○ペア・グループでささえあい深める
- 4 振り返る 「バッチリ！振り返り・実践」
○目標に対しやりぬいたかチェックする
○考えを修正・改善し、まとめる

